

1. 建物概要

建物名称	株式会社梅の木牛尾工場新築工事	BEE	0.8	BEEランク	B-	★★
------	-----------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.3	/5	ふつつ 
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	2.8	/5	がんばろう 
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	3.3	/5	ふつつ 
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.0	/5	がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上 
			ふつつ 3 点以上 
			がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目			
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点		3.3	
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) 特になし。	Q-1	2	2.1	2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。	Q-3	1		⑤ 生物環境の保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑧「トップライト」を使用している。	LR-1	1		⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 ⑫LGSを使用している。 ⑬発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	LR-2	1	1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 2 2.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 2.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒	
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO2排出率83%	LR-3	1		⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点		2.8	
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし。	Q-2	2	2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備	
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点		3.3	
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑲階高:3.9m以上 ⑲0.1≤[壁長さ比率]<0.3	Q-2	1	1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり 3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ	
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 特になし。	Q-3	3	3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点		2.0	
	■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上) 特になし。	Q-3	1	⑤ 生物環境の保全と創出 2 ㉓ まちなみ景観への配慮 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	■敷地外環境対策 (㉕持続可能な森林から産出された木材/㉖温熱環境悪化の改善) 特になし。	LR-2	2	2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 LR-3 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善	

CASBEE®-建築(新築)

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_速報版

■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社梅の木牛尾工場新築工事	階数	地上2F
建設地	静岡県島田市牛尾字水神前 30番1, 31番, 32番1, 33番1, 33番2	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	35人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年8月 予定	評価の実施日	2026年6月20日
敷地面積	4,038㎡	作成者	青島 利浩
建築面積	2,300㎡	確認日	
延床面積	2,964㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
BEE = 0.8 ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。	☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 0.0 音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1 機能性 耐用性 対応性	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.1 生物環境 まちなみ 地域性・
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.0 建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2 水資源 非再生材料の 汚染物質	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1 地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果です。 ライフサイクルCO₂排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 階高: 3.9m以上 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3	Q3 室外環境 (敷地内) 植栽により、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー 「トップライト」を使用している。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGSを使用している。 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO₂排出率83% 燃焼機器を使用していない。 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の全項目に適合している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される